



第一地区

第40号

令和元年11月発行

住民自治協議会だより

茂菅・新諏訪町・西長野・桜枝町・狐池・花咲町・往生地・横沢町・西町上・西町南・上西之門町・西之門町・栄町・立町・若松町・旭町・長門町

(発行者) 第一地区住民自治協議会

事業・活動報告

総務部会

「ようこそ市長室へ」9月17日(火)

加藤市長と第一地区正副会長(6名)との懇談会「ようこそ市長室」が開催されました。市役所市長応接室で第一地区喫緊の課題と将来を展望した課題について懇談しました。



「末代まで持続可能で活力ある第一地区にするために、今こそ」

1、安全・安心な地域や町づくり

〈課題〉長野県北部地震以後に続く旭山の崩落。国道406号西長野地区早期整備。

(第一地区より) 旭山の崩落対策の現状と今後の見込み、及び国道406号西長野地区の整備の進捗状況を伺いたい。

(長野市より) 旭山崩落箇所は国有林と私有林があるが、双方とも年度内に測量等を済ませ、次年度より本格的に崩落対策工事が開始される。国道406号に関しては引き続き県への働きかけを行っている。

2、活力ある各町づくり

〈課題〉各町役員の選出に苦慮。近所からの苦情で中学校体育館使用に支障。部活ボランティア指導者、児童館の支援員への配慮。

(第一地区より) 活力ある町づくりの推進役の各町役員や民生委員の選出に苦慮している、役員選出に関し市にも配慮が欲しい。子供の教育環境面で、柳町中学校体育館での体育活動における近隣からの苦情などの状況及びその対策について、また、部活指導ボランティア及び児童館支援員の処遇改善について伺う。

(長野市より) 柳町中学校体育館使用に対する近隣よりの苦情で、生徒の授業、部活動と社会体育に影響があることは承知しているが、対応に苦慮している。住民の理解を得るために住自協の協力もお願いしたい。指導ボランティアや児童館支援員の処遇改善に関しては関係機関と連携し向上に努力している。

3、知恵と気概のある第一地区づくり

「地元の信州大学教育学部・公共施設等と連携した知恵と気概のある第一地区づくりを構築する」ことが大切と考えている。

(第一地区より) 信州大学教育学部との連携・施設の借用について、長野市の指導・助言をお願いする。

(長野市より) 信州大学との連携は長野市としても推進に協力したい。住自協と協調し大学側と協議していきたい。

安全防災部会

「赤い羽根共同募金配分金」にて、発電機とサークルライトを購入しました。

共同募金は、戦後間もない昭和 22（1947）年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

（赤い羽根共同募金ホームページより抜粋）

この共同募金の助成のひとつとして、「安心・安全なまちづくり活動支援事業」があり、今年度、安全防災部会では、この事業に申請し、その配分金で「発電機とサークルライト」を配備しました。大規模災害等による停電時の避難所生活に備える為です。夜間の照明は勿論ですが、携帯電話の充電等にも利用できます。災害は起きて欲しくありませんが、災害に備えることは重要です。配分金では以前にも災害時の避難用リヤカーを配備してもらいました。大切に保管し、万が一の際は有効に活用させていただきます。



「交通安全週間街頭指導」 7月26日



7月26日（金）朝7時～8時。若松町交番の交差点付近で、交通安全協会と地元区長のみなさん約20名により、出勤途中のドライバーや歩行者に交通安全を呼びかけました。早朝と言うものの暑い太陽に照らされ、皆さんお疲れ様でした。痛ましい交通事故の様子が連日のようにニュースに流れます。他人事でなくお互いに気を付けましょう。

健康福祉部会

「ノルディックウォーキング」(健康福祉部会) 6/26・9/13

健康福祉部会では昨年度まで、第一区内を歩くウォーキングと地区外の高原や歴史ある街並みを歩くノルディックウォーキングを行っていましたが、本年度はノルディックウォーキングのみとし、年2回開催しました。1回目は、6月に「信州松代七福めぐり」として、かつての松代の城下町の遺跡等をめぐりました。参加者は16名で、初夏の日差しは強



かったものの爽やかな気候に恵まれ、風情ある街並みと路地や街道を快適に歩きました。右の集合写真は「寺

町商家」というかつて大きな質屋さんの門の前です。家屋の中は見学とコーヒー等の喫茶もあり、途中休憩をさせてもらって、さあ、後半の出発前のところです。

2回目は9月に「黒姫高原フラワーパーク」周辺を歩きました。春の松代町歩きと違い、冬はグレンデとなるスキー場でしたからアップダウンもあり、日頃の運動不足解消に役立ちました。この日は長野市の気温は30℃に近い日でしたが、高原の風は涼しく、気持ちの良いノルディックウォーキングとなりました。



環境部会

「視察研修」7月24日 ながの環境エネルギーセンター 環境部員16名参加



一度に収集車2台分のごみをつかむバケットの模型と記念写真

ながの環境エネルギーセンターは、今年の3月末から、長野広域連合（長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町）の内、千曲市、坂城町、小布施町を除く6市町村の可燃ごみの処理を行っています。見学コースからごみ搬入口エリアを見ていると、普段見たことがないゴミ収集車があり、以前の処理施設見学時には見られないことでした。また、新築とはいえ、施設内見学コースは清潔で匂いも全くなく、女性スタッフによる説明も丁寧で食品工場の見学のような様子でした。センターの稼働は24時間の年中無休ですが、施設見学は定休日の火曜日以外は個人での見学もOKで、ごみとエネルギーに関して楽しく学べるコーナーもあるので家族での見学も楽しいと思います。

ところで、本年4月、長野市のごみ処理センターで火災が発生し、一時不燃ごみの回収ができなくなったことはご記憶の事と思います。火災の原因は未だに不明のようですが、スプレー缶や使い捨てライター、ボタン型電池等の不適正な排出による火災発生が多くあるようです。スプレー缶は使い切って穴を開けて、缶の日に。ライターも中身を使い切りガスを抜いて、不燃ごみの日に。それぞれ回収日に集積所へ。ボタン型電池は少し複雑です。ボタン電池には微量の水銀が含まれているので安全のため回収店へ。コイン型には水銀は含まれていないので不燃ごみの日に。但し、両方ともにセロハンテープを張ってから。何故かという、電池同士あるいは他の金属と接触していると発火の危険性があるからです。詳しくは、長野市生活環境課（直通 224-7635）へお問い合わせください。



教育文化部会

「地域と学校連携事業」7月19日（金）第一地区公民館 48名参加

今回はとくに学校からの地域への要望を中心に討議しました。野生動物、不審者の出没情報等から、生徒の登下校時刻の見守り隊への参加や犬の散歩や道路の掃除等に併せたさりげない見守り。学校と地域の連携による防災の検討。放課後の個別指導や部活動指導ボランティアへの参加。PTA 活動（古紙回収事業等）への協力等々の要望がありました。ご協力頂ける方がありましたら第一地区住自協事務局（262-1217）へご連絡ください。

「三世代ふれあいハイキング」8月6日（火）信濃町

夏休み恒例の「三世代ふれあいハイキング」は、今年も信濃町の「フィッシングランドはなおか」で大人43名子供35名の計78名の参加で実施しました。今年も梅雨明けから連日の猛暑で長野市は35℃を超える気温でしたが、信濃町の会場は木陰に気持ちの良い風が吹いていました。昨年までは、小学校高学年は魚釣り、低学年は魚のつかみ取りと分けていましたが、今年は「はなおかさん」のご厚意で両方とも全員が参加でき、子ども達の魚を追い回す歓声が響いていました。また、お昼のBBQは、参加者全員お腹一杯になったようでした。



本年度の「支所発地域力向上支援金事業」は下記の3地区に配分されました。

	申請団体	事業概要	支援金
1	茂菅区	災害時に支援活動する為に、トランシーバーを区役員と支援隊同士の情報伝達に。ヘッドライト、安全ベスト等を、昼夜の区別なく、区役員等の支援活動状況を区民対して認識できる為に防災備品を整備する。	152,000円
2	狐池区	夜間における大規模災害時に避難行動要支援登録者の方々に対して、一時避難場所へ誘導、救助するのにあたって、ヘルメットに装着するライトが必要であり、並びに単独歩行困難者への速やかな誘導に簡易車いすが必要であるため防災備品を整備する。	89,000円
3	西町上区 西町南区 長門町区	少子高齢化に伴う若い世帯の減少により40数年間、祭り（びんする・町内秋祭り）に於いて神輿を担ぐ機会がなくなっていたが、この数年当該3カ町に若い世帯の増加に伴い乳幼児、小中学生が増えた。そこで各町に於ける地域の活性化、世代を超えた交流を目的とし、びんする子供みこし並びに町内秋祭りに子供みこしを出すことで地域の活性化に繋げる。	246,000円
合 計			487,000円

◆第一地区住民自治協議会事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 権堂イーストプラザ ND1 階

電話：262-1217 (FAX 兼)

E-mail: dai1@clock.ocn.ne.jp